

日本リハビリテーション 病院・施設協会誌

2022年1月発行
(年4回発行)第182号

Japan Association of Rehabilitation Hospital and Institution

2022年[冬]



■特集

リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫 2021

【基調講演】澤村誠志

デルタ株感染拡大から学んだ、我が国の医療政策と地域リハビリテーションの将来を展望する

【特別講演】二木 立

地域包括ケアの過去と現在 ―コロナ収束後の「再起動」のために―

■連載 理事が語るシリーズ 志村フロイデグループの地域リハビリテーション活動

ZOOMIN 会員病院・施設

医療法人天心堂 志田病院



一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会

CONTENTS

2 特集
リハビリテーション・ケア
合同研究大会
兵庫 2021

大会長講演 大串 幹

基調講演 澤村 誠志

特別講演1 二木 立

主催団体企画2 歯科衛生士がつなぐ医科歯科連携の重要性 口は幸福のもと!

主催団体企画4 調査検証委員会における調査報告

ことはじめセミナー 浜村 明德

10 巻頭言
「地域JRAT組織化支援委員会」に期待されること
佐藤 吉沖

26 連載 理事が語るシリーズ
教育セミナー「志村フロイデグループの地域リハビリテーション活動」
鈴木 邦彦

28 追悼 石川 誠先生を偲んで
梅津 祐一 大井 清文 近藤 国嗣 及川 忠人
林 正岳 長谷川 幹

31 CURRENT TOPICS 厚労省関連ニュース

33 ZOOM IN 会員病院・施設
医療法人天心堂
志田病院 (佐賀県)

38 Information



「地域JRAT組織化 支援委員会」に 期待されること



佐藤 吉沖

日本リハビリテーション病院・施設協会 常務理事
医療法人銀門会甲州リハビリテーション病院 院長

東日本大震災（2011年）において支援活動を行った東日本大震災リハビリテーション支援関連10団体は、2013年に大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）として活動を始め、熊本地震（2016年）など多くの災害において活動実績を重ねた。2020年には所属13団体が正会員となり、一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）を設立した。

山梨県においては2013年にJRAT全国研修会で育成されたコーディネーターが中心となり、山梨県の理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会、介護支援専門員協会に医師が参加して山梨JRATの組織化活動が始まった。

定期的な会合を重ねて規約を作成し、県との協定を締結した。山梨JRATは、協定により災害時の保健医療調整本部の正式メンバーとなり、定期的に県内の防災訓練に参加。また、県からの予算を確保するとともに、行政担当者が山梨JRATの定例会議に参加、顔の見える関係を構築している。県内各病院も協賛病院として会費を納めながら活動協力をしている。

2020年7月の熊本県豪雨の際はコロナ禍での災害支援となり、感染症の心配から他都道府県からの支援ができなかった。このことにより、コロナ禍における災害支援は、可能な限り被災都道府県

内で展開していくことが示唆された。今まで以上に地域JRATの活動が重要となり、体制強化およびさらなる進化が期待されることとなった。

全国アンケート調査によって地域JRATの組織化に苦勞している県が存在することが明らかとなった。このため、地域JRATの体制強化・組織化充実などを支援する目的で、JRATでは「地域JRAT組織化支援委員会」を新設し、各加盟団体から委員が推薦され活動を開始した。私も日本リハビリテーション病院・施設協会の推薦で委員会に参加することとなった。

2021年に「地域リハビリテーション推進のための指針」が改定され、厚生労働省から各都道府県には通知が、関連団体には事務連絡が発出された。

関係各位の努力により、都道府県のリハビリテーション支援センターの役割として、災害リハビリテーションの体制整備、調整が加わった。都道府県行政は、いずれこの通知に則り動かねばならない状況になるかと思われる。

早速、山梨県リハビリテーション支援センターの役割に災害リハビリテーションを加えていただいた。他県においても行政と都道府県リハビリテーション支援センターと地域JRATが連携し、全国各地で充実した災害リハビリテーション支援体制が構築されることが期待される。

※このページ以降の誌面をご覧ください。場合は、
当協会への入会が必要です。

ご入会のお手続きは下記へ



【入会について】

<https://www.rehakyoh.jp/join.html>